

## &lt; 評価料金等表 &gt;

※設計住宅性能評価：[戸建住宅]基本料金+選択項目による加算料金

※設計住宅性能評価：[共同住宅等]基本料金+(選択項目による加算料金×M)

※建設住宅性能評価：基本料金+選択項目による加算料金+遠隔地検査料金

遠隔地検査料金は当社住宅性能評価業務に係る遠隔地検査料に準じ加算します。

ただし、建築基準法現場検査と同時検査の場合は不要となります。

※長期使用構造等確認：基本料金

## 【1.戸建住宅】

(1) [基本料金]

表-1 ①評価等料金

設計住宅性能評価	200㎡未満	¥40,000 (税込 44,000 )
	200㎡以上 又は併用住宅	¥60,000 (税込 66,000 )
長期使用構造等確認	200㎡未満	¥45,000 (税込 49,500 )
	200㎡以上 又は併用住宅	¥65,000 (税込 71,500 )
変更設計住宅性能評価料金 変更長期使用構造等確認料金	変更内容により別途見積り (上記料金の80%を限度とする)	

※上記の料金は木造に限る。非木造については注1に記載のとおり。

※上記の申請に併せて建築物省エネルギー消費性能確保計画を申請し、確認済証の交付を受ける場合は、基本料金を¥10,000(税込¥11,000)を加算する。ただし、同一仕様で複数の建築物に係る住宅性能評価の申請等が一定期間内に見込めるときで、効率的な審査ができると判断された場合はこの限りではない。

※製造者認証等については別途見積もりとする。

表-2 ②長期使用構造等確認料金

長期使用構造等確認	200㎡未満	¥62,000 (税込 68,200 )
	200㎡以上 又は併用住宅	¥82,000 (税込 90,200 )
長期使用構造等に係る変更確認料金 長期使用構造等に係る軽微変更該当証明料金	変更内容により別途見積り (上記料金の80%を限度とする)	

※上記の料金は木造に限る。非木造については注1に記載のとおり。

※上記の申請に併せて建築物省エネルギー消費性能確保計画を申請し、確認済証の交付を受ける場合は、基本料金を¥10,000(税込¥11,000)を加算する。ただし、同一仕様で複数の建築物に係る住宅性能評価の申請等が一定期間内に見込めるときで、効率的な審査ができると判断された場合はこの限りではない。

※製造者認証等については別途見積もりとする。

表-3 ③建設評価料金

(税込)

建設住宅性能評価	200㎡未満	¥92,000
	200㎡以上 又は併用住宅	¥125,000
変更建設住宅性能評価料金		変更内容により別途見積り (上記料金の80%を限度とする)

※建設住宅性能評価料金には紛争処理負担金¥4,000を含みます。

※建設住宅性能評価料金は4回の検査対象工程を標準としています。4回を超える場合は1回の検査につき¥22,000(税込)を加算します。

※再検査(是正確認等)を行う場合は1回の検査につき¥22,000(税込)を加算します。

※変更申告(軽微な変更)で、5-1、5-2に係る計算を伴う場合、構造計算等の再検討が必要な場合別途料金(¥5,500/戸)が追加されます。

※製造者認証等については別途見積もりとする。

## (2) [ 選択項目による加算料金 ]

## ①評価料金に加算する料金

(税込)

選択項目	取得等級等	加算料金	備考
1.構造の安定	等級2以上	¥5,500	e x j 等で計算書が複数の場合は、5,500円X計算書の数
3.劣化の軽減	等級2以上	¥1,100	
4.維持管理・更新	等級2以上	¥1,100	
5-1.温熱環境 (断熱等性能)	等級2以上	¥5,500	
5-2.温熱環境 (一次エネルギー消費量計算)	等級2以上	¥5,500	
7.光・視環境	取得	¥1,100	
9.高齢者等への配慮	等級3以上	¥2,200	

## ②建設評価料金に加算する料金

(税込)

選択項目	取得等級等	加算料金	備考
5-1.温熱環境 (断熱等性能)	等級2以上	¥1,100	
5-2.温熱環境 (一次エネルギー消費量計算)	等級2以上	¥1,100	
6-3.室内化学物質	取得	別途見積	
9.高齢者等への配慮	等級3以上	¥1,100	

## 【2. 共同住宅等】

表-4 (1) [ 基本料金 ] 性能評価・長期使用構造等確認

(税込)

床面積の合計	①評価等料金	②建設評価料金
500 m <sup>2</sup> 未満	¥ 132,000+M×K	¥ 110,000+M×¥ 8,800+m×¥ 4,000
500 m <sup>2</sup> 以上 1,000 m <sup>2</sup> 未満	¥ 165,000+M×K	¥ 165,000+M×¥ 8,800+m×¥ 4,000
1,000 m <sup>2</sup> 以上 2,000 m <sup>2</sup> 未満	¥ 220,000+M×K	¥ 220,000+M×¥ 8,800+m×¥ 4,000
2,000 m <sup>2</sup> 以上 5,000 m <sup>2</sup> 未満	¥ 275,000+M×K	¥ 275,000+M×¥ 8,800+m×¥ 4,000
5,000 m <sup>2</sup> 以上 10,000 m <sup>2</sup> 未満	¥ 330,000+M×K	¥ 330,000+M×¥ 8,800+m×¥ 4,000
10,000m <sup>2</sup> 以上	別途見積	別途見積

※上記の料金は木造又はRC造に限る。その他構造については注2に記載のとおり。

※K：住戸基本料金(・設計住宅性能評価K=¥ 4,950/戸・長期使用構造等確認K=¥ 6,050/戸)

※M：評価を行う戸数+(全住戸-評価を行う戸数)/2

※m：評価対象住戸

※TT：全戸数(室数)

※H：評価書交付件数

※寄宿舍・サービス付き高齢者住宅等の場合(共用廊下等共用部分のない場合等)Mは下記による

$$M=H+(TT-H)/2$$

※料金は棟単位とする。

※変更設計評価、変更建設評価料金及び長期変更確認は変更内容により表-4の80%を上限として別途見積りとする。

※製造者認証等の建築物は、設計評価料金及び建設評価料金を30%を上限に減額する。

※建設住宅性能評価料金は15階建までの検査対象工程(6回)を標準としており、15階を超える場合は検査対象工程1回毎¥ 22,000(税込)を加算する。

※再検査(是正確認等)を行う場合は1回の検査につき¥ 22,000(税込)を加算する。

### (2) [ 選択項目による加算料金 ]

①評価料金に加算する料金	別表2-1による
②建設評価料金に加算する料金	別表2-1による
6-3 室内空気中の化学物質の濃度等	別途見積

表-5 (1) [基本料金] 長期使用構造等確認料金

(税込)

床面積の合計	①評価等料金
500 m <sup>2</sup> 未満	¥132,000+M×7,040
500 m <sup>2</sup> 以上 1,000 m <sup>2</sup> 未満	¥165,000+M×7,040
1,000 m <sup>2</sup> 以上 2,000 m <sup>2</sup> 未満	¥220,000+M×7,040
2,000 m <sup>2</sup> 以上 5,000 m <sup>2</sup> 未満	¥275,000+M×7,040
5,000 m <sup>2</sup> 以上 10,000 m <sup>2</sup> 未満	¥330,000+M×7,040
10,000m <sup>2</sup> 以上	別途見積

※上記の料金は木造又はRC造に限る。その他構造については注2に記載のとおり。

※長期変更確認料金は変更内容により表-5の80%を上限として別途見積りとする。

長期使用構造等に係る軽微変更該当証明料金は変更内容により表-5の80%を上限として別途見積りとする。

※製造者認証等の建築物は確認料金を30%を上限に減額する。

表-6 (1) [基本料金] 共同住宅等(長屋住宅)

(税込)

床面積の合計	①評価等料金	②建設評価料金
300 m <sup>2</sup> 未満	¥88,000	¥165,000+m×¥4,000
300 m <sup>2</sup> 以上 500 m <sup>2</sup> 未満	¥99,000	¥198,000+m×¥4,000
500 m <sup>2</sup> 以上 1,000 m <sup>2</sup> 未満	¥110,000	¥220,000+m×¥4,000
1,000m <sup>2</sup> 以上	別途見積	別途見積

※木造3階以下の共同住宅等(長屋住宅)

※評価項目が必須項目のみであり、そのうち1項目のみが等級2以上で、それ以外の項目が等級1の場合

注 1 : 戸建住宅の基本料金について、非木造については表-1・表-2の料金×1.5の額とする。

注 2 : 共同住宅等の基本料金について、混構造・鉄骨造の場合については別途見積りとする。

注 3 : 他社確認の場合は、上記料金×1.5の額とする。

注 4 : 評価書等の再交付(変更等がなく交付後2年未満のものに限る)は¥10,000(税込¥11,000)/通

注 5 : 評価対象面積の算定は、建築基準法の規定により算定する延床面積とする。

但し、その適用が著しく不合理と当社が認めた場合は別途判断とする。

注 6 : 電子申請の場合は、原則電子ファイルでの交付とする。

評価書の紙交付を希望する場合は¥10,000(税込¥11,000)/通

注 7 : 上記以外の申請、又はその適用が著しく不合理と当社が認める場合については別途見積りとする。

■評価項目・加算料金一覧表 【別表2-1】

【共同住宅】

【設計性能評価・長期優良使用構造等確認】

【建設性能評価】

(単位:円)税込

		設計性能評価								建設性能評価															
		住戸基本料金 K				4,950				長期優良使用構造等確認				6,050				住戸基本料金 K				8,800			
		加算料金(円/戸)				加算料金(円/戸)				加算料金(円/戸)				加算料金(円/戸)				加算料金(円/戸)							
		必須項目		選択項目		選択項目				必須項目		選択項目		選択項目		必須項目		選択項目		選択項目					
	取得等級	①	取得等級	②	取得等級	③	必須等級		取得等級	①	取得等級	②	取得等級		取得等級	①	取得等級	②	取得等級						
<b>1.構造の安定</b>																									
1-1	耐震等級 (倒壊防止)	1	KIを含む	1	220	2以上	220	2以上	1	KIを含む	1	KIを含む	2以上												
1-2	耐震等級 (損傷防止)			1		2以上					1		2以上												
1-3	その他・免震 *免震は別途見積	○	110	その他免震	110	その他免震			○	KIを含む	その他免震	KIを含む	その他免震												
1-4	耐風等級			1		2					1		2												
1-5	耐雪等級			1		2					1		2												
1-6	地盤・杭 支持力	○	KIを含む		KIを含む				○	KIを含む		KIを含む													
1-7	基礎の構造	○	KIを含む		KIを含む				○	KIを含む		KIを含む													
<b>2.火災時の安全</b>																									
2-1	自住戸火災			○							○														
2-2	他住戸火災									110		110													
2-3	避難安全				110		110																		
2-4	脱出対策																								
2-5	耐火等級(開口部)			○							○														
2-6	耐火等級(開口部以外)									KIを含む		KIを含む													
2-7	耐火等級(界床・界壁)																								
<b>3.劣化の軽減</b>																									
3-1	劣化対策等級	1	KIを含む	1	110	2以上	110	3	1	KIを含む	1	110	2以上												
<b>4.維持管理・更新</b>																									
4-1	維持管理等級(専用配管)	1	KIを含む	1	110	2以上	110	3	1	KIを含む	1	KIを含む	2以上												
4-2	維持管理等級(共用配管)																								
4-3	更新対策(共用排水管)																								
4-4	更新対策(住戸専用部) *躯体天井高				110	*躯体天井高	110	*躯体天井高				110	*躯体天井高												
<b>5.温熱環境・エネルギー消費量</b>																									
5-1	断熱等性能等級	1	KIを含む	1	330	2以上	330	5以上	1	KIを含む	1	110	2以上												
5-2	一次エネルギー消費量等級	—		1	330	2以上	330	6以上	—		1	110	2以上												
<b>6.空気環境</b>																									
6-1	ホルムアルデヒド		110	○	110	○				KIを含む	○	KIを含む	○												
6-2	換気対策			○		○					○		○												
6-3	室内化学物質 *別途見積もり																								
<b>7.光・視環境</b>																									
7-1	単純開口比		110	○	110	○				110	○	110	○												
7-2	方位別開口比			○		○					○		○												
<b>8.音環境</b>																									
8-1	重量衝撃音 ①				330		330			110		110													
	①、②のいずれか ②																								
8-2	軽量衝撃音			○							○														
8-3	透過損失(界壁)		110		110					KIを含む		KIを含む													
8-4	透過損失(開口部)																								
<b>9.高齢者等への配慮</b>																									
9-1	高齢者対策等級(専用部)		0	1	330	等級3以上				KIを含む	1	110	等級3以上												
9-2	高齢者対策等級(共用部)						110	等級3以上																	
<b>10.防犯</b>																									
10-1	開口部の侵入防止		110	○	110	○				KIを含む	○	KIを含む	○												